北部学園だより

子どもたちに水と土と太陽

認定こども園ほくぶ幼稚園
2017年12月14日

12月号

2017年お世話になりました。
一年を終わるにあたって……
来年もよろしくお願いいたします。
早速最後のメッセージ
★今年頑張った食育　　奥が深いです！！

＜考えさせられた食育その1＞

「白米しか食べられない」味覚の子どもたちがいる時、混ぜご飯の時は別に白米を炊きます。するとそれは学校に行ってから、給食はどうしたらいいのだろうか。白米しか食べられない子どもたちの存在が、さまざまなことを教えてくれました。

そもそも味覚というものは、その子にとってはすごく大切な事柄で、「嫌でも無理に食べなさい」ということは「生きるか死ぬか」くらいに大きな感覚なのだという事を、園長は突き付けられました。25年くらい前に、確かに「炊き立ての白米」しか食べられないM君と出会いました。「炊き立て！！」です。目の前で炊きあがったものを炊き立てというのですが、そのことを受け止めるうえでは、「2合炊きの炊飯器を用意し、目の前で炊いたご飯を見せるしか方法がありませんでした。でなければ、M君はおなかをすかして2時の帰る時間まで過ごさなければならないのです。だったら、小さな電気釜を買って、目の前でご飯を炊いてごはんを食べる時間を保障しないといけません。1年近く実践しましたが、遠くに引っ越したため、それ以上の時間は使いませんでしたが、その事例はその後の味覚障??とどう向き合うかを教えられました。

今、混ぜご飯が食べられない子が意外に多くいます。給食メニューで「こんな混ぜご飯を食べさせたい」と季節混ぜご飯が新メニューで登場します。そうなると、白米党は、「無理」です。先生たちから「食べられないのです」という訴えが給食室に行き、管理栄養士の佐藤さんは、懸命に別にわざわざ「白米を炊いてくれる」のです。うれしいですね。ちなみにこの子たちは、雑穀米は食べられるそうです!(^^)!

園も様々な努力はしているのですが、学校に行ったらこの子たちはどうしてこの課題と向き合って、「おなかがすいた」といわないで、授業を受けられるのだろうか・・・・。
「ほくぶ」は自園での給食だからできるけれど、学校のような大きな給食施設だったらどうするのか???思いはそちらの方まで飛んでいってしまいます。

食育の中で、食への関心を高め、望ましい食生活に目覚めさせていくという方針は、時には「食べさせる」指導になりがちです。いやそうではない「幸せな食生活」とは何かと考える「食育」を実践していかなくてはと思うことしきりの、今日この頃ですね。

＜「すき？きらい？」その2＞

最近写真で伝えているように、魚の解体ショーをしました。事前に刺身は食べたことがないという数人の子どもの情報を持っていた先生たち、魚の解体ショーで「刺身を食べる」ことはできないだろうと、それなりの心の準備をしていたはずですが、なんと、知らない間にみな刺身を食べているのです。今まで食べたことない刺身を「食べてしまった」子どもたち、自分なりのおいしさを感じて、食の幅を広げている・・・。つまり「心配」は無用ということですか？

大人の私たちが既成の概念で子どもを見ていると、見事に「予想外の行動をして」裏切ってくれるのですね。これも子どもをわかっていないと、驚く事柄ですね。

あそびっこで、「むかごを採って食べた」
「ノビルを食べた」子どもたち

幼稚園の給食とは何か…???
そもそも「食べる」とは何か?それこそ食育への課題なのではないか?

もう一つ考えた「みんなで理解しあいたい、特別な支援とは」
ほくぶ幼稚園の中での「特別な支援」を考える

今世の中で、「支援が必要だと感じる人」は、どのくらいいるのでしょうか。あるいはいずれ支援が必要になるかもしれない人口と考えたら、私も含めて、ほとんどの人が何らかの支援が必要になる、人間ではないでしょうか???

（私も介護が必要になる日がいずれやってくる?健康でいよう!!）

すべての子どもが一人一人姿形が違うように、頭で何を見て考えているか推し量る力、人それぞれ違っていいのだということ、「多様性を認める」ということはそういうことではないでしょうか。

先日、性教育の本を読んでいて、数年前性同一性障害のことが話題になりましたが、この表現に対して、専門の研究者は「早い段階で自分の中に「男女の性認識に違和感を覚える」という意識が芽生えていることを上げられ、「障害ではなく、違和感を覚える」という表現のほうがいいのではと意見が出ていました。支援を必要とするということは、「そういう感覚の中にある違和感」をも理解しようと努め、「そこに支援ができる」という実践ではないかと、改めて思ったところです。

ほくぶ幼稚園にも10数人いる自閉症スペクトラムの子どもたちは、多くの場合一見問題がないように見えます。しかし、本人の中では、なぜ今部屋にいなければいけないのか、あるいはなぜ同じことをしなくてはいけないのか、「苦しくて「抑えられない感情が」こみあげてきて」、「ついうっかり隣の友達をたたいてしまったり」迷惑な行為と思われる行動をしてしまうようです。ほくぶ幼稚園でも様々なタイプの子どもたちがいます。そしてそういう子どもたちに適切な「支援」を行うことで、社会とつながっていきやすいように生活を作ってますが、最も重要な「支援」の在り方を、「仲間の中で生活する」ことではないかとも位置付けています。

限りなく皆と一緒に生活するようにしていますが、そもそも、そういう状態の中にいられない子どもも多くいるのです。その場合は、その子にあった居場所づくりが始まります。

例えば、「事務室に来て遊んでいいよ」という支援の方法もあります。
しかし、それを大人は支援と思っているのですが、最近気が付いたのです?が、子どもたちの中では「憧れの子ども」になっているようです。なぜかといえば、「事務室行き来 常にOK」「人が考えないような面白いことをできる」に憧れているようです。遊びのリーダーにもなっている場合があるのです。「ホールで先生を独り占めして遊べるうらやましい子ども」「外で自由にやりたい遊びをできる子ども」大人はとかくそれを「不平等、特別扱い」と考える場合が多いようですが、**「その子にとって居心地が悪ければ、自ら育つ力が生まれない」それを支えるのが教育の力だとすれば、「その子にあった個別の指導計画に他ならない」**と考えるのはおかしいでしょうか。またそれを深く理解してこそ、「多様性を理解する教育」の姿ではないでしょうか。決してわがままで、おかしいのではないという事を共有したいですね。

ですから、「ほくぶ」の子どもはすごいです。子どもたちって、優しくて、平等観満載ですね。支援とは一体何なのか大げさに言うことではなく、「互いに尊重しあい、困っていることを理解しあい、自分にできないことを友達ができた時、大いに喜びあい、認める」ことと、子どもが証明してくれているのです。先ほど書いたように、子どもは互いの力を認め合っているのです。「憧れの概念が豊かなのです」「一番にできるからすごい」のではなく、「自分と違うことをやってのける仲間」として認める時に「憧れ」が生まれるのですね。競争意識が間違った価値観にならないように、保育教育の柱の中に、「仲間づくり」をしっかり中心において、子どもも大人もみんなの中で育つことをかみしめているところです。

丁寧な保育＞療育　を考えていきましょう。

子どもをとりまくすべてのおとなたちと、考えあいたいですね。

♡小さい子どもたちも、自分で感じている。優しい水やり
♡先生たちも秋を、赤ちゃんたちに感じさせようと、モミジの木の下で「赤い赤いモミジの葉(^^♪」と優しい声で歌います。

えほんのへや

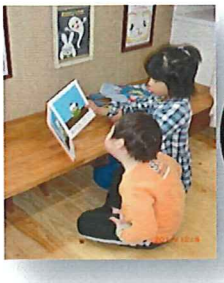
１２月に入り、『えほんのへや』にツリーやサンタさん・ゆきだるまなどが飾られ、冬を描いた絵本も並べられました。さっそく、子どもたちが手にとっていました。年長さんは、図書室にはいってくるなり「〇〇の絵本、ある？」と借りたい絵本を決めて入ってくるそうです。時には、取り合いになり、そこは年長さんです、ジャンケンして順番を決めていました。

＜下記に舩島和子さんから原稿をいただきました。＞

図書室が出来て半年余りになりました。
図書室は、様々な時間に、またいろいろな子どもたちが出たり入ったり、不定期の来室者で賑わったり貸出の時間も大賑わいといった具合で、絵本のおばさんとしては、うれしい幸せな空間となってきました。
子どもたちが図書室に来るといろいろなドラマ、感動また驚きでいっぱいです。図書室のお隣の２歳児さんも数人でふらっとよく遊びにやってきます。初めは、絵本をおもちゃのように扱っていた２歳児さんですが、最近ではどうでしょう、ちゃんと椅子に座り、テーブルに各自絵本を持ってきて読んでいる（見ている）のです。それも静かに・・・。

最後までページをめくって…。絵本がずらりとある部屋、環境が子どもたちの生活をこんなに豊かにするものだと感じた時でした。年少・年中・年長のこどもたちも、それぞれに絵本への思い入れがあるようです。ず一っと前にお母さんから読んでもらったなつかしい絵本、知らない世界を探険して調べようと図鑑を手に取る子、覚えたての文字を一生懸命ひろって自分で本を読もうとする子など…。
子どもたちは、みんなそれぞれに絵本（おはなし）の世界を心から楽しんでいます。
そして季節は巡り、子どもたちが楽しみに待っているクリスマスがやってきます。サンタクロースを信じる？信じない？…と大人の間では話題になりますが、子ども時代だからこそ、サンタクロースの存在を信じる楽しい時間が始まります。幸福なイメージの世界を子どもたちが持てるように見守りたいなと思います。お家ではいかがでしょうか?
１２月クリスマスの絵本、冬の絵本が続々登場します。
親子貸出しも毎回楽しみに来て下さる親子連れの皆様とも、穏やかな時間を過ごしています。
絵本を読み聞かせたり、子育て談議に花が咲いたり…と。お迎えの時間ちょっとのぞいてみませんか。温かい絵本が待っています。**＜図書室の魔女・舩島＞**

しあわせな空間



おうちにもって帰った絵本は、大人が読み聞かせてね!!

親子絵本貸出し実施中！
新年は、１月１１日から始まります。

『三つ子の魂 百まで』ってなぁ～に？

日本で古くから伝わることわざです。三つ子というのは、満３歳ではなく数え年の３歳のことで、現在でいう満１歳台（生後１２か月～２３か月）ですが、今のように脳科学や発達心理学・精神分析学などが語られることがない時代に生まれたことわざは「幼いころに培われた性格や性質は年をとってもかわらない」ということでしょうか。ことわざを通して保育を考える時、魂ということばの中には「心」育ても含まれているのではないでしょうか。子どもの心に届くためには、『無条件に、永遠に愛し、愛されている』という実感できる人の存在が前提にあって育つものではないかと、未満児さんの育ちをみながら思うことが多くあります。
先日、１歳児保育室で見かけた光景を紹介します。

①「いないいない～ばあ～」

②ともだちも加わって「いないいない～ばあ～」

③このタオルの持ち主、ともだちをどかして自分のタオルで「いないいない～ばあ～」

④押しやられたともだちは、床にうつぶせになって、嫌だったアピール。それを見ていた別のともだちが近づき、声かけ？している。それでも、たちなおってくれないともだち…。

⑤たちなおれないともだちのタオルを見つけ、これだよと伝えている…？？？

※その後、たちなおれなかった子どもには、保育者が寄り添ってくれました。語彙の数が急激に増える時期の１歳児さんですが、まだ、たどたどしいことばのやり取りで、ともだちの気持ちを思い、寄り添って行動する姿があり感動しました。それぞれの思いをことばにして、受け止め、代弁してくれる大人（保育者）の存在は、重要になってきます。

＜ともだちとわらべうたを楽しむ１歳児：＞

『ぽったん』

『かもつれっしゃ』

また、十数年前でしょうか？新聞等で話題になった『子育て四訓』

「乳児はしっかり肌を離すな」「幼児は肌を離せ手を離すな」「少年は手を離せ目を離すな」「青年は目を離せ心を離すな」とありました。（山口県の教育関係者の話とかアメリカインデアンの子育てとか言われていますが）戦後、アメリカの育児方法が取り入れられた際に提唱された「抱き癖がつくから、泣いてもだっこするな」と言われた時代がありました。その前の世代の人は、子どもをおんぶして家事をしていました。まさに『肌を離すな』ですね。
この世に誕生してからの数か月の成長は目覚ましいものがあります。おっぱい飲んで寝てばかりだった子どもの表情が豊かになり周りの大人を幸せにしてくれます。
ほくぶ幼稚園では、入園してくる一番の低年齢児の０歳児は６カ月から 11 か月の子どもたちですが、月齢によって生活の質がずいぶん違います。この時期の子どもたちは「寝返りができた！」「ハイハイが出来た！」「一歩あるいたよ」「マンマ」など一語文が聞けたなど目に見えた成長・発達があります。これをタテの発達とすれば、まわりの子ども同士のつながりで培われる心の成長や豊かな生活をヨコの発達とし、大切に考えています。
目に見えない心の育ちは、自然とのふれあいで育つことも多いように思います。
１歳児は、０歳児に近い１ 歳児と２歳児に近い１歳児がいて、月齢に合わせた生活をしながら散歩に一緒にでかけ、野菜や虫などに出会い共感するする体験もしています。虫を見つけると「なんだろうね」としゃがんで頭を突き合わせ眺めたり、育てている野菜も間引きと称してみんなで食べたりとまわりの世界に働きかけています。（副園長・木村）

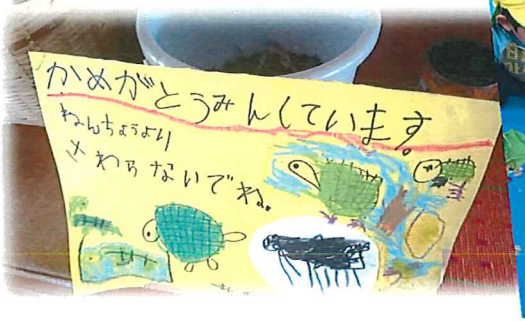
＜野菜に水かけする０歳児＞

<ようちえんアート?を考える?>

あそびっこあそび以降　子どもたちの創作意欲は止まらない??各クラスのクリスマス装飾にも・・。お店屋さんごっこ、レストランごっこでもリアリズムが追及されたり・・。子どもの目線は楽しい、すごい!!　大人は負けそうです。未来の芸術家続出ですよ!!また、私たちがアートというものはこんなところから生まれるのではないでしょうか?写真で少し生活アートを感じてください。写真は年長中心です。(幼稚園に来たら各部屋の飾り見てね)

「やさい」ってきれい。生活の中のきれいを見つける

年長魚の解体　いぶくろにまさかの、さかなが!!
← 頭と目玉「すげー」



年長レストランコックの衣装にこだわって!

＝亀の冬眠＝
なぜ??でも理屈じゃない!とにかく冬眠だって!

初氷を見つけた日
子どもの歓声が!!!
大人はさむい!!
先生たちのひそかなるたくらみか、(^_^)はたまた自然のなせる業か定かでないが、季節をいち早く見つける子どもたち

年長秋までの活動の集大成?のクリスマスツリー
いろんな願いやイメージがこのツリーには詰まっている!!

H29.12月

献立表

※材料の都合により献立が変更する場合があります。
※果物はその都度の出荷状況によって変化します。
※食品群分類表に、おやつの材料は含まれていません。

今月の給食の食材にたくさん使ってもらってます。

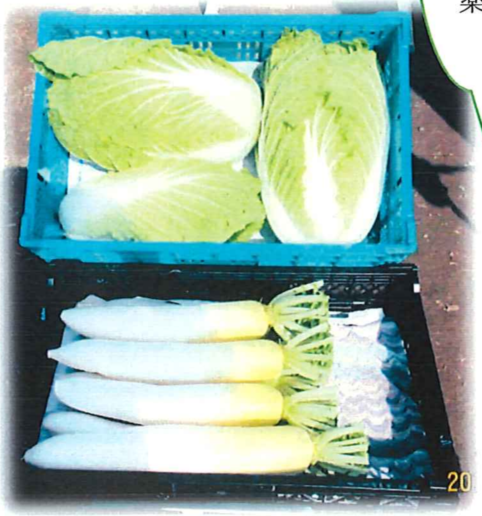
日	曜日	献立名	材料 赤色（血液や肉をつくる）	黄色（力や体温になる）	緑色（体の調子を整える）	調味料	2号3号認定おやつ	未満児午前おやつ
1	金	◆麦御飯◎焼きししゃも★もやしのおかか和え●味噌汁	ししゃも、花かつお、あげ、いりこ（だし）	白米、麦、砂糖、さつま芋	もやし、小松菜、人参、玉葱	◎塩★薄口●味噌	バナナ蒸しパン	マカロニきな粉 牛乳
2	土	◆チキンライス◎野菜スープ★ヨーグルト	鶏肉、ヨーグルト	七分つき米、いちごジャム、じゃが芋 1キロ	人参、玉葱、レタス、しめじ	◆ケチャップ、コンソメ◎薄口、塩	ラスク	お菓子 牛乳
4	月	◆炒り玄米ご飯◎魚の竜田揚げ★うの花サラダ●味噌汁	魚、おから、豆腐、いりこ（だし）、のり	白米、玄米、片栗粉、マヨネーズ、砂糖、油	生姜、人参、玉葱、きゅうり 8キロ	◎醤油、酒★薄口、酢 塩、こしょう●味噌	米粉クッキー（かぼちゃ） 2キロ	野菜スティック 牛乳
5	火	◆七分御飯◎ひじきハンバーグ★梅肉和え●きのこ汁	鶏肉、ひじき、おから、花かつお、いりこ（だし）	七分つき米、片栗粉、砂糖	玉葱、大根、水菜、梅干し、えのき、しめじ、椎茸	◎醤油、酒、みりん、塩★酢●薄口、塩	ふりかけおにぎり	豆乳もち 牛乳
6	水	◆きび御飯◎筑前煮★お浸し●田作り	鶏肉、いりこ、花かつお（だし）	白米、もちきび、砂糖	蓮根、ごぼう、人参、ほうれん草、キャベツ、大根、椎茸、こんにゃく 10キロ	◎醤油、みりん★醤油●醤油、酒	きな粉ケーキ	焼きポテト 牛乳 2kg
7	木	◆古代米御飯◎魚の塩麹焼き★もやしの胡麻和え●味噌汁	魚、卵、いりこ（だし）	白米、黒米、ごま、砂糖	もやし、人参、きゅうり、トマト、玉葱	◆塩◎塩麹★薄口●味噌	チーズ饅頭	蒸しかぼちゃ 牛乳
8	金	◆雑穀カレー[illegible]ダ★牛乳	[illegible]牛乳	15キロ 白米、黒米、赤米、じゃが芋、カレールウ、砂糖、コーン、ごま油	玉葱、大根、水菜、人参、赤玉葱、にんにく 4キロ	◆ケチャップ、醤油◎酢、醤油	ミートパイ	ふかし芋 牛乳
9	土	◆うどん◎酢の物★ヨーグルト	ル[illegible]し）、あ[illegible]	うどん、いちごジャ[illegible] 砂糖	きゅうり、椎茸	◆薄口、塩◎薄口	サクサククッキー	お菓子 牛乳
11	月	◆麦御飯◎魚の西京焼き★かみかみサラダ●ワカメスープ	魚、いりこ（だし、りめんじゃこ	[illegible]、砂	ごぼう、人参、キャベツ、えのき、玉葱	◎味噌、みりん、酒、醤油★薄口、酢●薄口、塩	大学芋	きな粉団子 牛乳
12	火	◆きび御飯◎豚肉の中華風煮★酢の物	豚肉、わかめ	白米、[illegible]糖、春雨	[illegible]、人参、キャベ[illegible]、生姜	◎薄口、オイスターソース、塩、酒★薄口、酢	りんごケーキ	野菜スティック 牛乳
13	水	◆青菜御飯◎魚のタンドリー★ざぜん豆●野菜スープ	魚、ヨーグルト、大豆、昆布、鶏ガラ（だし）	白米、ごま、砂糖	[illegible]ト、レ[illegible]	◆塩◎ケチャップ、ウスターソース、塩こしょ[illegible]油●薄口、塩	のりおにぎり	蒸しかぼちゃ 牛乳
14	木	〈クリスマス会〉◆しらす御飯◎鶏の唐揚げ★ナポリタン●野菜サラダ◇シチュー○ジューシー	ちりめんじゃこ、花かつお、鶏肉、ウインナー、牛乳、鶏ガラ（だし）	白米、砂糖、油、スパゲッティ、じゃが芋、コーン 6キロ	にんにく、人参、玉[illegible]、大根、水菜 4キロ	[illegible]醤油、酒[illegible]薄口、[illegible]塩	ぜんざい	蒸しパン 牛乳
15	金	◆そぼろ御飯◎なます★うどん汁	鶏挽肉、いりこ（だし）、昆布	七分つき米、砂糖、うどん	生姜、人参、大根、玉葱、三つ葉、椎茸 10キロ	◆醤油、酒、[illegible]薄口、酢●味噌	[illegible]キー	ふかし芋 牛乳
16	土	◆焼きそば◎青菜のおかか和え★ヨーグルト	豚肉、花かつお、ヨーグルト	焼きそば麺、砂糖、いちごジャム	玉葱、人参、もやし、キャベツ、小松菜	◆ソース◎薄口	ホ[illegible]	[illegible]菓子 牛乳
18	月	◆古代米御飯◎魚フライ★ひじき煮●味噌汁	魚、高野豆腐、ひじき、あげ、いりこ（だし）	白米、黒米、米粉、砂糖	人参、椎茸、こんにゃく、大根、玉葱、水菜 5キロ	◆塩◎塩、ケチャップ、ソース★醤油、みりん●味噌	芋もち	菜スティック 牛乳
19	火	◆きび御飯◎豚肉の味噌煮★干し大根のナムル	豚肉、厚揚げ、	白米、もちきび、砂糖、ごま油、ごま	玉葱、ごぼう、人参、椎茸、切干大根、ほうれん草	◎味噌、みりん、醤油★薄口	黒糖蒸しパン	豆乳もち 牛乳
20	水	〈もちつき〉◆麦御飯◎鶏肉のマーマレード焼き★かぼちゃサラダ●味噌汁	鶏肉、豆腐、わかめ、いりこ（だし）	白米、麦、マヨネーズ、マーマレード	かぼちゃ、玉葱、きゅうり 12キロ	◎醤油★塩、こしょう●味噌	米粉クッキー（プレーン）	焼きポテト 牛乳 2kg
21	木	◆七分御飯◎チリコンカーン風★海藻サラダ●牛乳	鶏挽肉、大豆、金時豆、わかめ、牛乳	七分つき米、油、砂糖	人参、玉葱、レタス、にんにく、大根、トマト缶 4キロ	◎ケチャップ、ソース★薄口、酢、塩こしょう	おかかおにぎり	ふかし芋 牛乳
22	金	〈教育時間終了、2・3号のみ給食〉◆雑穀米御飯◎魚のホイル焼き★すまし汁	魚、いりこ（だし）	白米、黒米、赤米、バター、じゃが芋 5キロ	しめじ、えのき、人参、玉葱、もやし、水菜	◎塩★薄口、塩	揚げマカロニ	蒸しかぼちゃ 牛乳
25	月	◆ゆかり御飯◎すりみ揚げ★伴三絲●味噌汁	いわしすり身、ハム、豆腐、あげ、いりこ（だし）	白米、春雨、砂糖 9キロ	玉葱、グリーンピース、キャベツ、人参	◆ゆかり★薄口、酢●味噌	桃ジャムのケーキ	蒸しパン 牛乳
26	火	◆きび御飯◎肉じゃが★青菜のみそ和え●田作り	豚肉、いりこ	白米、もちきび、じゃが芋、砂糖、ごま	人参、玉葱、こんにゃく、椎茸、ほうれん草、大根 6キロ	◎醤油、みりん★味噌、酒、みりん●醤油、酒	ナポリタン	野菜スティック 牛乳
27	水	◆麦御飯◎鶏のチーズパン粉焼き★ひじきの酢の物●すまし汁	鶏肉、粉チーズ、ひじき、いりこ（だし）	白米、麦、パン粉、油、砂糖、コーン	トマト、白菜 3キロ、玉葱、人参、きゅうり	◎塩★薄口、酢●薄口、塩	ミルクもち	粉ふき芋 牛乳 2kg
28	木	〈保育時間終了〉◆プルコギ丼◎大根サラダ★味噌汁	豚肉、ちりめんじゃこ、花かつお、わかめ、いりこ（だし）	白米、黒米、赤米、砂糖、コーン、ごま、ごま油	もやし、人参、椎茸、にんにく、大根、水菜、玉葱 6キロ	◆醤油、みりん、◎酢★味噌	佃煮おにぎり	マカロ[illegible]

冬休み

ようちえんファームだより

最近収穫した野菜です

完全無農薬



時々給食に使いきれなかった野菜は保護者の皆様の送迎に合わせて販売開始しました。（不定期）100円～200円で～す

クイズ

下のかごの中の野菜で、幼稚園で収穫したことのないものどれだ!!　子どもの畑も!!忘れずにね

＜えたこ＞ギネ・ラパスアンコンレ　クニンニ